

平成27年度日本小児外科学会
第3回定例理事会議事録

日 時：平成 27 年 7 月 28 日（火） 11：00～16：00

会 場：日本外科学会会議室

出席者：黒田達夫（理事長）、越永従道（副理事長）田口智章（理事・会長）、仁尾正記（理事・副会長）、八木 實、漆原直人、米倉竹夫、奥山宏臣、山高篤行、広部誠一（以上理事）、上野 滋、濱田吉則（以上監事）、菱木知郎（庶務委員長）、渡井 有（財務会計委員長）、藤野明浩（庶務副委員長）、浦尾正彦（財務会計副委員長）、木下義晶（庶務委員）、大植孝治（機関誌委員会委員長）、小高明雄（保険診療委員会委員長）、渡辺稔彦（教育委員会委員長）、木下義晶（悪性腫瘍委員会委員長）、内田恵一（学術・先進医療検討委員会委員長）、野田卓男（倫理・安全管理委員会委員長）、古村 眞（データベース委員会委員長）、吉澤穰治（小児救急検討委員会委員長）、中原さおり（ワークライフバランス検討委員会委員長）、尾花和子（トランジション検討委員会委員長）、堀口裕輔（事務局）

陪席者：一瀬 篤（厚生労働省 雇用均等・児童家庭局母子保健課 課長）、田中 桜（厚生労働省 雇用均等・児童家庭局母子保健課 課長補佐）

欠席者：前田貢作（監事）、北川博昭（PSI Publication Committee 委員長）、増本幸二（利益相反委員会委員長）

議事案件：

議 事：

1. 第3回定例理事会の議事録署名人は、越永従道副理事長、奥山宏臣理事とした。
2. 厚生労働省母子保健課の活動について（黒田理事長）
厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課 一瀬篤 課長、同課 田中桜 課長補佐を招聘し、母子保健対策に関して以下の点、厚生労働省としての事業説明があった。
 - ・ 母子保健対策の体系について
 - ・ インターネット等で販売される母乳に関する注意喚起について
 - ・ 要望書の提出について
 - ・ 乳幼児に対する健康診査について
 - ・ 「健やか次世代育成基盤研究事業」及び「成育疾患克服等総合研究事業」の各研究課題について
 - ・ 健やか親子21における「第4回健康寿命をのぼそう！アワード」について
3. 各種委員会委員と業務内容の見直し並びに活動方針について

1) 各種委員会委員について

各種委員会委員長より、就任挨拶がなされた。

各種委員会委員長より、委員メンバーの案が提出され、理事会内規および他委員会との調整により、構成メンバーが承認された。なお、以下の点については、確認の上、後日持回り審議となった。

- ・ 国際広報委員会委員の構成委員について
- ・ 秋季シンポジウム小委員会委員について

※後日、理事会メール審議にて以下内容が承認されたことを申し添える。

- ・ 国際広報委員会委員
担当理事 黒田 達夫 委員長 田附 裕子
委員 大川 由美、川島 章子、高安 肇（以上留任）
宮野 剛、齋藤 武、湊本 康史、家入 里志（以上新任）
- ・ 秋季シンポジウム小委員会委員に機関誌委員会 大植孝治委員長を追加する。

2) 業務内容の見直し並びに活動方針について

各種委員会委員長より委員会業務内容ならびに活動方針案が提出され、質疑応答・審議および適宜修正を行った上で、承認された。なお、国際・広報委員会関連の内規改訂については、継続審議となった。

4. 平成27年度第2回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。

5. 報告事項

1) 理事長報告（黒田理事長）

- (1) 日本医療安全調査機構からの寄贈本「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業総括」を受領した。
- (2) 厚生労働省医薬食品局からの寄贈本「医薬品・医療機器安全性情報No.324」を受領した。
- (3) 日本外科学会からの寄贈本「SURGERY TODAY Vol.45No.7」を受領した。
- (4) 日本小児神経外科学会からの通信文「理事長交代について」を受領した。
- (5) 日本医療機能評価機構からの寄贈本「ニュース・レター2015/7月号」を受領した。
- (6) 難病の子供支援全国ネットワークからの寄贈本「がんばれ！ vol.151」を受領した。
- (7) 日本麻酔科学会からの寄贈「禁煙啓発ポスター」を受領した。
- (8) 日本製薬工業協会からの寄贈本「製薬協ニュースレターNo.168」を受領した。
- (9) 日本消化器外科学会からの通信文「理事長交代について」を受領した。
- (10) 日本産婦人科医会電子母子健康手帳標準化委員会からの通信文「母子健康手帳の電子化に関するアンケート調査結果報告書」を受領した。
- (11) 日本医学会からの通信文「役員選挙結果について」について、黒田理事長より報告があり、了承された。

(12) 日本医学会連合からの通信文「平成27年度定時総会議事要旨」について、黒田理事長より報告があり、了承された。

(13) 外科関連専門医制度委員会からの通信文「第2回外科学会専門医制度委員会議事録」について、黒田理事長より報告があり、了承された。

(14) 日本専門医機構への要望書について、黒田理事長より、日本外科学会および外科系サブスペシャリティ学会連名にて、以下の点を日本専門医機構へ要望したことが説明され、了承された。

- ・ 初期臨床研修期間中のNCD登録症例の経験症例への算定
- ・ 外科専門研修期間中のサブスペシャリティ領域NCD登録症例のサブスペシャリティ領域専門医としての診療実績への算定

2) 日本小児連絡協議会（四者協）について（田口会長）

田口会長より資料に基づき、日本小児連絡協議会定例会議の報告がなされ、了承された。また、合同委員会メンバー変更および「疾病登録と保健・医療情報の電子化に関する委員会」「小児災害医療対策検討委員会」の進捗状況についても報告があり、了承された。

3) 日本小児科学会小慢委員会について（田口会長）

田口会長より資料に基づき、難病指定に関し、三次難病指定へ向けての動向について、報告がなされ、了承された。

4) 日本小児期外科系関連学会協議会（田口会長）

田口会長より資料に基づき、日本小児期外科系関連学会協議会定例会議の報告がなされ、了承された。

6. 審議事項

1) 第53回学術集会について（田口会長）

田口会長より資料に基づき、プログラム準備状況が提案され、承認された。

日時：平成28年5月24日（火）、25（水）、26（木）

会場：ヒルトン福岡シーホーク

テーマ：「わ」をもって尊しとなす—小児外科医療の和・輪・倭—

※卒後教育セミナーの開催日程について、同時開催の IPEG との調整により、従来の学術集会終了後の開催ではなく、5月22日（日）および23日（月）午前にて開催予定とする。

2) 第54回学術集会について（仁尾副会長）

仁尾副会長より、現在の準備状況が報告され、承認された。

3) 第31回秋季シンポジウムについて（田口会長より代理報告）

田口会長より資料に基づき、プログラム案および準備状況が代理にて報告され、承認さ

れた。

4) 庶務委員会報告（菱木委員長）

菱木庶務委員長より、資料に基づき報告がなされ、承認された。

2015年6月末現在の会員数は、評議員を除く正会員1,876名（うち海外3名）、評議員311名、名誉会員53名（うち海外8名）、特別会員70名（うち海外1名）の合計2,310名である。

なお、逝去された名誉会員 守屋荒夫先生の追悼文については、執筆可能である先生がいるかどうか、黒田理事長より関係者に確認することとなった。

5) 財務会計委員会報告（渡井委員長）

渡井委員長より、資料に基づき提案がされ、承認された。

- ・ 学術活動維持のために一般の方（団体を含）より寄付金を受付ける方法につき、日本呼吸器外科学会の寄付金規程を参考に提案され、次回理事会以降に日本小児外科学会の規程案および申込書案を提示することとなった。
- ・ 医師賠償保険サービスの代理店契約更改について、提案され、承認された。
- ・ WOFAPS の council meeting および理事会へ日本小児外科学会の代表委員として出席した場合の旅費支給額の変更について提案され、審議の結果、「原則10万円」と変更し、必要性和妥当性をその都度審議し、代表委員の負担を極力軽減できるように支給額を検討していくことが承認された。
- ・ NCD より職員を日本小児外科学会委員会等へ招聘した場合に、従来2万円の謝金および旅費実費を支払っていたが、他学会での状況を調査したところ、謝金支払はしていないようであるため、他学会に足並みを揃え、今後は日本小児外科学会としても謝金の支給を無くし、旅費実費のみの支給とすることが提案され、承認された。

6) 各種委員会報告および審議事項

(1) 国際広報委員会（黒田理事長）

黒田理事長より、現在のホームページ掲載内容について、古い情報が残っており、新委員会にて、掲載の適否を確認していく必要があることが報告され、実施していくことが承認された。

(2) 学術・先進医療検討委員会（八木担当理事）

八木担当理事より、資料に基づき以下報告があり承認された。

- ・ 2013年新生児外科全国アンケート調査について、ホームページへ掲載し、PSIにも投稿し採用の見通しである。
- ・ 第52回学術集会優秀ビデオ作品について、ホームページへ掲載完了した。
- ・ 会員対象のアンケート調査依頼の審査および認可

初回平成26年1月31日、第2回平成27年2月6日、平成27年5月14日に小

児ストーマ研究会装具等検討委員会委員、 中原さおり先生から御依頼のありました「1500g 未満の低体重児におけるストーマ管理の実態調査」について審議の結果、平成 27 年 5 月 25 日に承認した。

- ・ 他の学会， 研究班からの診断基準， 重症度判定， ガイドラインなどの評価および承認依頼

平成 27 年 6 月 2 日に平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金事業「小児呼吸器形成異常・低形成疾患に関する実態調査ならびに診療ガイドライン作成に関する研究」における新生児先天性横隔膜ヘルニア研究グループ（代表：臼井規朗先生）から「新生児先天性横隔膜ヘルニア(CHD)診療ガイドライン」について外部評価の一環として学会での承認依頼があり、当委員会では 2 回の審議を経て平成 27 年 7 月 6 日に理事会審議を依頼、7 月 12 日に理事会の意見を依頼者：九州大学小児外科 永田公二先生に報告した。

- ・ 全国規模の学術アンケート調査に関する規定改訂案と診療指針（ガイドライン）およびこれに準じた研究成果の承認に関する規定(案)について、従来の方針に則り、より慎重に審査していくための変更点が提案され、承認された。

(3) トランジション検討委員会（八木担当理事）

八木担当理事より、以下報告・提案があり承認された。

- ・ 小児外科疾患の移行期支援ガイドブックの進捗として各病態の草案原稿は取りまとめたことが報告され、さらに審議確認を進めることとなった。
- ・ 小児外科疾患の移行期支援ガイドブックが完成した際はホームページに掲載し、意見募集を実施した上で、完成を予定している。

7) 日本専門医機構制度検討委員会からのヒアリング依頼について（黒田理事長）

黒田理事長より、資料に基づき、日本専門医機構制度検討委員会から外科系専門医に関する制度検討のためのヒアリング依頼が届いたことが報告された。併せて、日本専門医機構へ提出する小児外科専門医に関するレビューシート案が提案され、専門医制度認定委員会にも確認の上、最終案とすることが承認された。

8) 次回定例理事会日程の確認（黒田理事長）

次回理事会は平成27年9月29日（火）11：00～16：00 日本外科学会会議室にて開催することが確認された。

理事長 _____

理 事 _____

理 事 _____